

# 牧野(淀川上流)探鳥会 2017年2月度

2017.2.5 (第一日曜日) 9:00~14:00 日本野鳥の会大阪支部

担当 南 茂夫、高井 常之、前田 初雄、甲田 照二、斎藤 健、西脇 淳浩、平 軍二(☎090-6901-1425)

今年は酉年、淀川牧野周辺はカモ・サギなどの水鳥・ベニマシコなど草原の鳥・ミサゴなど猛禽類、そしてアトリなど林の鳥と、冬は50種以上の鳥が楽しめる大阪ナンバーワンの探鳥地です。

**1. 先月の探鳥会** 探鳥コースは木の実が完熟期、鳥散布植物である①トウネズミモチにはツグミ・ヒヨドリ、②ナンキンハゼにハシブトガラス・カワラヒワ・キジバト、③センダンにムクドリ・ヒヨドリ・ツグミなど、そして④風散布植物のアキニレにカワラヒワ・アトリなどが群で、⑤草原の鳥もベニマシコ・カシラダカ・ホオジロ・ヒバリ、そして1羽のみであるがホオアカなど、鳥がひっきりなしに出て、**トータル55種**確認できた。



そんな中、今日の最大トピックスは新発見の**ウミアイサ**、カワアイサと誤っていた鳥が、日本野鳥の会ひょうご会員でもあるN氏からウミアイサとの指摘があり、近くに飛んできたことから再確認し納得した。牧野探鳥会では毎冬カワアイサを観察しているが、遠くを泳いでいて良く潜るので、これまでウミアイサが来ていても見過ごしていた可能性がある。



**2. 今月紹介する鳥はウミアイサ** 上述の経緯でウミアイサが観察できました。左に斉藤博さんから送っていただいた、カワアイサ・ウミアイサ♀写真を並べてみました。

両種は	<b>カワアイサ</b>	<b>ウミアイサ</b>
頭部と胸の境界	明瞭	不明瞭
のどの白色部	明瞭	白くない

の違いで判ります。ウミとつく鳥が、海から30km上流の淀川・枚方市にいますので、気づけなかったと思われます。

今月も観察したいですね。

## 3. 自転車にぶつからないように

牧野探鳥会は他の探鳥地に比べ鳥が多いけれども、探鳥コースに「**トイレが無い・自転車が危ない**」の二重苦が、アキレス腱になっています。特にサイクリング車が一日数百台、猛スピードでひっきりなし、ぶつかる怪我をして痛い目に合うのはバードウォッチャーです。

**前後左右に目を配り、「自転車から自分を守る」**ようお願いします。  
170107探鳥コースで →



## 4. 今冬は鳥インフルエンザに要注意

昨年秋から全国で高病原性鳥インフルエンザに罹患する鳥が多くなっています。養鶏場のニワトリ、ハクチョウ・ツル・カモなど水鳥などからもウイルスが検出されているとのことです。12月下旬になって、牧野上流の**淀競馬場内の池**のコブハクチョウが、陽性だったとわかりました。自然界の鳥インフルエンザが人に伝染したという報告はなく、危険視する必要はありませんが、カモの糞などに混入している鳥インフルエンザウイルスが、人の靴などにくっついて他の場所へ運ばれ、養鶏場のニワトリなどに伝染することを警戒されています。

今日、牧野で観察するカモたちも、**インフルエンザウイルスを持っている可能性があります**。そこで、

- ・糞の落ちていない水辺に近づかない
- ・鳥の死体を見つけたら→大阪動物愛護畜産課 06-6210-9619
- ・探鳥地を離れるときに、靴底・三脚の足などを消毒する。……今日、終了時実施

怖がる必要はありませんが、他に拡散させない注意が必要です。

## 5. 次回は3月5日(第1日曜日)

次回3月、春を感じた鳥が明るい歌声を響かせています。今月同様、50種ほどの鳥を楽しみたいと思っています。

